



スポレクとやま
2010全国祭を開催

参院比例第12総支部
広野ただし参院議員

10月16、19日、第23回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクとやま2010」が富山県で盛大に開催された。生涯スポーツ国内最大の祭典で、全国から選手・関係者、約3万人が集った。「健康で長生き」するためにも、多種多様なスポレクの果たす役割は大きく、文部科学省も協力している大会。



広野議員は、富山県フレッシュテニス協会顧問を長く務めている関係で参加協力した。韓国からも約200人の参加を得、国際色豊かな大会となった。

参加者は、競技以外に観光・食事を楽しく

む機会もあり、素晴らしい体験をされた。なお、広野議員は民主党スポーツ振興議連の副会長も務めている。

地域の声を国政に
国政報告会を開催

東京都第9区
木内孝胤衆院議員



10月17日(土)石神井、10月31日(石神井)、11月7日(東大泉)、11月14日(南大泉)と東京練馬区内でそれぞれ国政報告会を開催した。日頃街頭等では演説を行っているが、有権者の生の声を聞く機会がまだまだ不足していると感じており、少人数での意見交換の場を設けるために企画した。

また、来年4月に予定されている練馬区議会議員選挙へ挑戦する党公認の新人予定候補者も出席し、所信を述べる絶好の機会ともなった。

国政報告会には、40人から100人ほどの住民の方の参加を頂き、活発な意見交換を行うことができた。

今後でもできる限り多くの地区で国政報告会を開催し、一人でも多

くの方の声を聞き、国政に反映していきたいと考えている。

後援会主催
「秋の集い」に参加

北海道第3区
荒井聡衆院議員

荒井議員の選挙区となる札幌市豊平区、白石区、清田区で、後援会主催の「秋の集い」が各区で開催された。

国務大臣在任中は公務多忙で地元入りする機会を持てず、久しぶりの行事となったが、各会場とも大盛況となった。来賓として江田五月前参院議長が岡山から駆けつけ、後援会会員と気さくに歓談された。

江田議員と初めて接することになった後援会会員も、その素晴らしい人柄に触れ、和やかな雰囲気の中で懇親を深めることができた。

荒井議員からは、国務大臣として取り組んだ仕事を説明した。



経済政策の基本となる「新成長戦略」の取りまとめ、その推進の為に「新成長戦略実現会議」の設立、財政再建に向けた「財政運営戦略」策定等々、現政

府選挙後に1泊2日の総会・研修会を開催することを決定した。

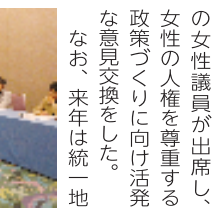
権の経済財政戦略の基本を創り上げたことを「ひとこと丁寧」に話した。また、荒井議員不在の間、議員に成り代わって日々懸命に後援会活動を続けて頂いた後援会会員に対し、お詫びとともに感謝の意を伝え、会場は激励と温かい拍手に包まれた。

2010年度
総会・研修会を開催

北海道
女性議員等連絡会議

北海道内の民主党各級女性議員等との連携を密にして、各地域で抱える課題や本部との双方の情報交換を行い、より男女共同参画社会の推進を図るため、10月13日、釧路市で、来春の知事選挙、統一自治体議員選挙に向けて女性政策づくりのための研修会を開催した。

当日は工藤仁美衆院議員、徳永エリ参院議員の出席のもとで21人の女性議員が出席し、女性の権利を尊重する政策づくりに向け活発な意見交換をした。



冒頭、古川代議士より、政権交代の成果としての「変化」を「政治と官僚の関係」、「政府と与党の関係」、「マニフェストの意義」の3点から説明した。

また、皆様から政権に対する積極的な質問を受け、両議員より真摯に回答をさせていただいた。2会場での延べ600人近くの参加の皆様のの中には、今回初めてタウンミーティ

ングに参加された方も多く、政権交代後の民主党に対する関心の高さ、メディアを通さないう直接の対話の重要性を示した。

愛知県第2区
古川元久衆院議員

愛知県第2総支部は、11月3日、6日の両日、名古屋千種区、名東区で「衆議院議員古川元久・参議院議員大塚耕平合同タウンミーティング」を開催した。

政権交代後の1年間の振り返り、「これまでの政権運営」を政府内で実務を執り行ったそれぞれ立場から報告した。



JAXA、和歌山大学、和歌山県教育委員会の共同プロジェクトで、教員研修として宇宙教育を取り入れ、体験学習する試みは今回が国内初で、教育界だけではなく様々な分野から注目を集めている。

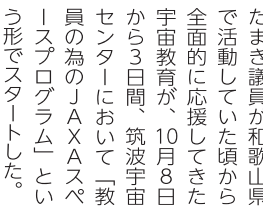
今後、和歌山県が宇宙教育の先進県として全国をリードしていくことになる。ちなみに、たまき議員の母校、田辺高校からも先生が参

加されており、たまき議員は激励した。

和歌山県第3区
たまき公民衆院議員

和歌山県第3区たまき公民衆院議員先進黨スタート!

県議会議員としてたまき議員が和歌山県で活動していた頃から全面的に応援してきた宇宙教育が、10月8日から3日間、筑波宇宙センターにおいて「教員の為のJAXAスペースプログラム」という形でスタートした。



へき地(他に病院の無い地域)への理解を」とのメッセージがあり、これを受け矢崎議員は診療報酬だけでなく、地域医療の崩壊を食い止めるためにも医療制度改革をすすめます」

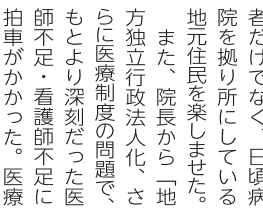
と述べた。

と述べた。

長野県第4区
矢崎公二衆院議員

11月6日、地元の本曾地域で唯一の有床病院、本曾病院で行われた病院祭に参加した。

当日施設内では、普段は外来診察に使用される診察室を一般開放し、医療体験や、体力測定などが行われ、ロビーでは地元の中学生による吹奏楽などが催された。病院祭を心待ちにしていた入院中の患者だけでなく、日頃病院を抛り所にしていない地元住民を楽しませた。



また、院長から「地方独立行政法人化、さらに医療制度の問題でも」とり深刻だった医師不足・看護師不足に拍車がかかった。医療

と述べた。

代表選挙での応援模様、政務官退任後の法務委員会等での活動、事業仕分けの舞台裏など幅広く話題を提供した。

岩手大学
政治学ゼミを訪問

岩手県第1区
階代議士



岩手大学3、4年生11人を前に、まず代議士から議院内閣制で国会議員が政府高官を兼ねることの意義と苦労を経験を踏まえて述べ、政務官時代に手掛けた公務員制度改革や情報公開制度改革の概要を説明。さらに、党

岩手大学3、4年生11人を前に、まず代議士から議院内閣制で国会議員が政府高官を兼ねることの意義と苦労を経験を踏まえて述べ、政務官時代に手掛けた公務員制度改革や情報公開制度改革の概要を説明。さらに、党

岩手大学3、4年生11人を前に、まず代議士から議院内閣制で国会議員が政府高官を兼ねることの意義と苦労を経験を踏まえて述べ、政務官時代に手掛けた公務員制度改革や情報公開制度改革の概要を説明。さらに、党

岩手大学3、4年生11人を前に、まず代議士から議院内閣制で国会議員が政府高官を兼ねることの意義と苦労を経験を踏まえて述べ、政務官時代に手掛けた公務員制度改革や情報公開制度改革の概要を説明。さらに、党

民主主義のパラドックス
編集後記
松崎 哲久
衆院議員 広報委員長代理
啓主の登場を警戒した古代ギリシアの民主政治は、強いリーダーシップを持つ政治家が現れると、陶片にその名を記して投票し、数の力で国外に追放しました。これをオストラキスモス(陶片追放)といいます。

強力な指導者を次々に失ったアテナイは衰退し、やがてローマ帝国の属邦に組み込まれてしまいます。啓主制を恐れるあまり、いわば世論に拒否権を与えて利益を損なった例が、民主主義の伝統に隠れているのです。